

阪堺線の収支について

全路線（阪堺線、上町線）の収支について

- ・ 営業収益は、平成21年度に比べて、約73,505千円増加している。
- ・ 営業費用は、平成21年度に比べて、約37,420千円減少している。
- ・ 営業損益は、平成21年度に比べて、約110,926千円改善している。

平成29年度 軌道事業収支表

(単位：千円) 未満切捨

	全路線		大阪市内		堺市内	
	金額	対支援策開始前(H21)	金額	対支援策開始前(H21)	金額	対支援策開始前(H21)
営業収益	1,278,144	73,505	1,020,342	15,547	257,801	57,959
旅客運輸収入	1,188,380	73,323	953,072	15,846	235,307	57,477
定期外	956,451	130,304	752,103	68,549	204,347	61,754
定期	231,928	▲ 56,981	200,967	▲ 52,704	30,959	▲ 4,278
運輸雑収入	89,764	183	67,269	▲ 300	22,494	482
貸付料	9,255	▲ 6,342	5,864	▲ 780	3,390	▲ 5,562
広告料	55,212	7,434	39,623	3,140	15,589	4,296
構内営業料	15,320	▲ 4,544	14,250	▲ 5,041	1,069	497
その他雑入	9,975	3,634	7,529	2,381	2,445	1,253
営業費用	1,506,369	▲ 37,420	1,050,772	▲ 89,129	455,596	51,709
人件費	705,459	▲ 81,561	482,552	▲ 80,357	222,906	▲ 1,203
電車動力費	87,901	20,112	57,981	11,727	29,919	8,386
修繕費	392,759	▲ 18,678	282,658	▲ 39,725	110,101	21,048
物件費	46,585	4,859	33,097	2,230	13,487	2,630
経費	111,257	30,364	77,343	16,622	33,913	13,742
諸税	86,749	19,646	60,872	14,808	25,876	4,838
減価償却費	75,655	▲ 12,164	56,264	▲ 14,431	19,391	2,268
営業損益 (堺市補助含まない)	▲ 228,224	110,926	▲ 30,431	104,675	▲ 197,794	6,250

(堺市補助)

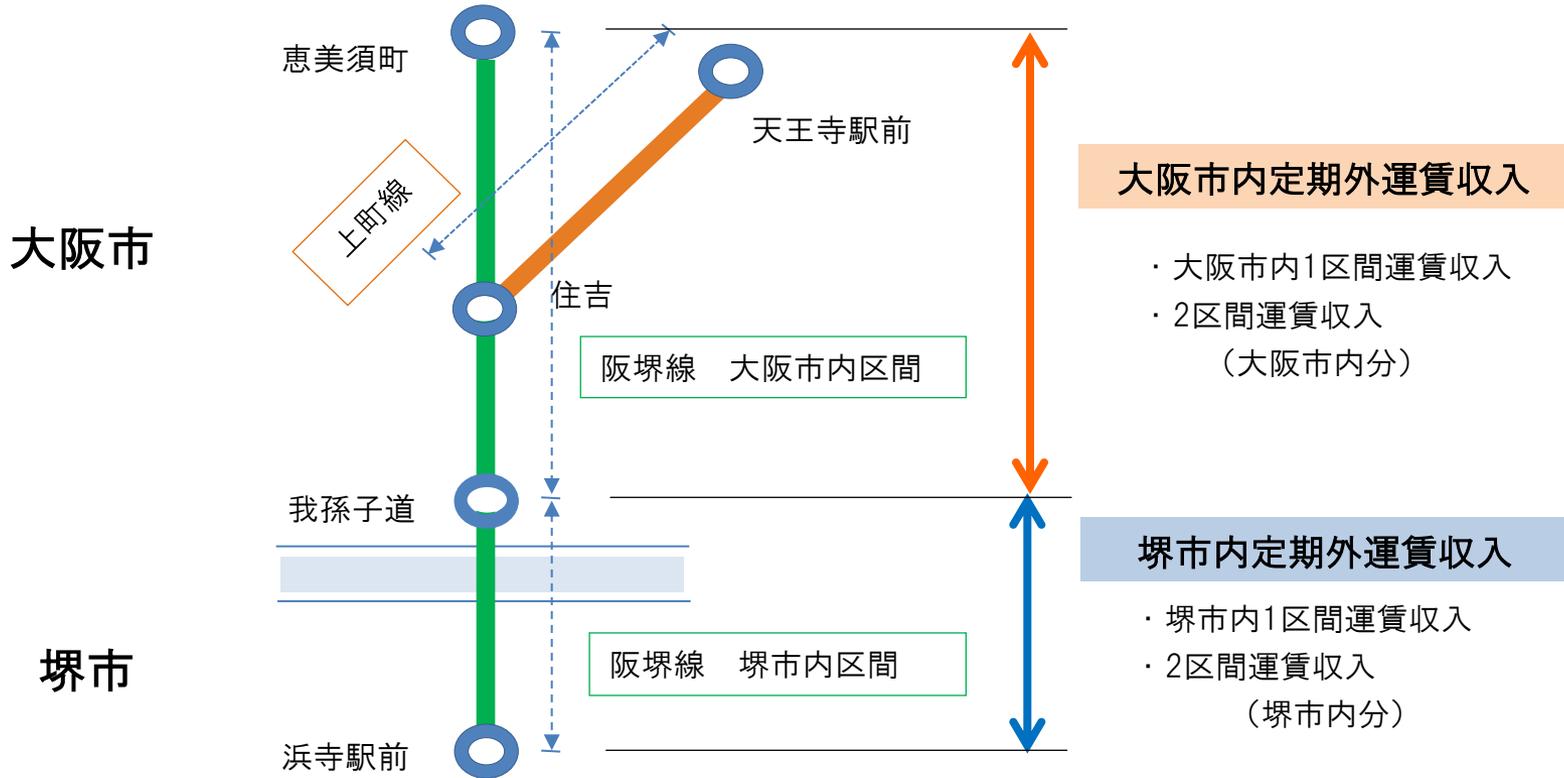
運賃施策への支援	133,573
周知広報への支援	11,427
施設保安・保守への支援	55,000
補助額合計	200,000
営業損益 (堺市補助含む)	▲ 28,224

※2区間運賃均一化(大人290円→210円)・高齢者運賃割引(100円)・堺おもてなしチケット等への支援が通年実施されております。

※施設保安・保守に要する経費への支援が通年実施されております。

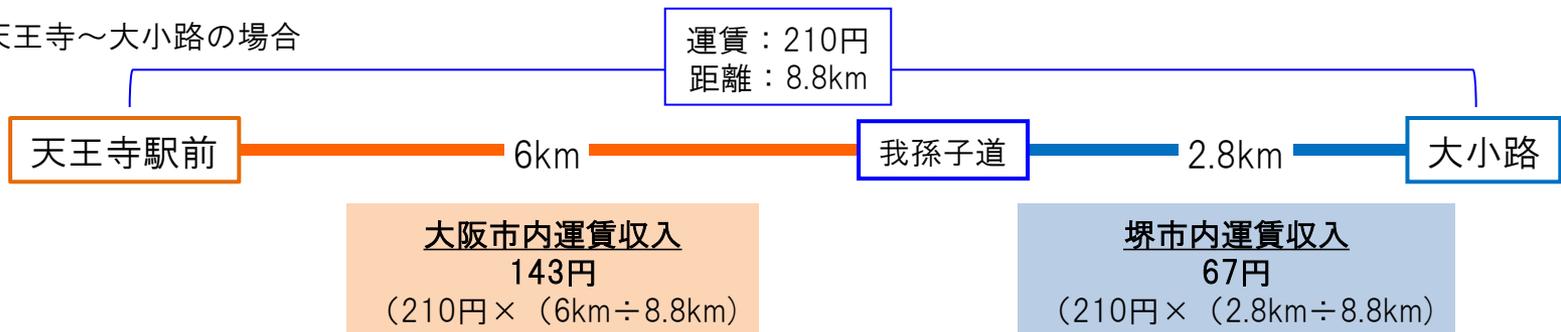
(参考) 定期外運賃収入内訳 (大阪市内・堺市内)

- ・ 2区間の定期外運賃収入は、大阪市内区間と堺市内区間を利用者が移動した距離の比率により割り振ることとしている。
- ・ 交通調査の結果から、大阪市内区間と堺市内区間の定期外運賃収入の比率は、約8：2としている。



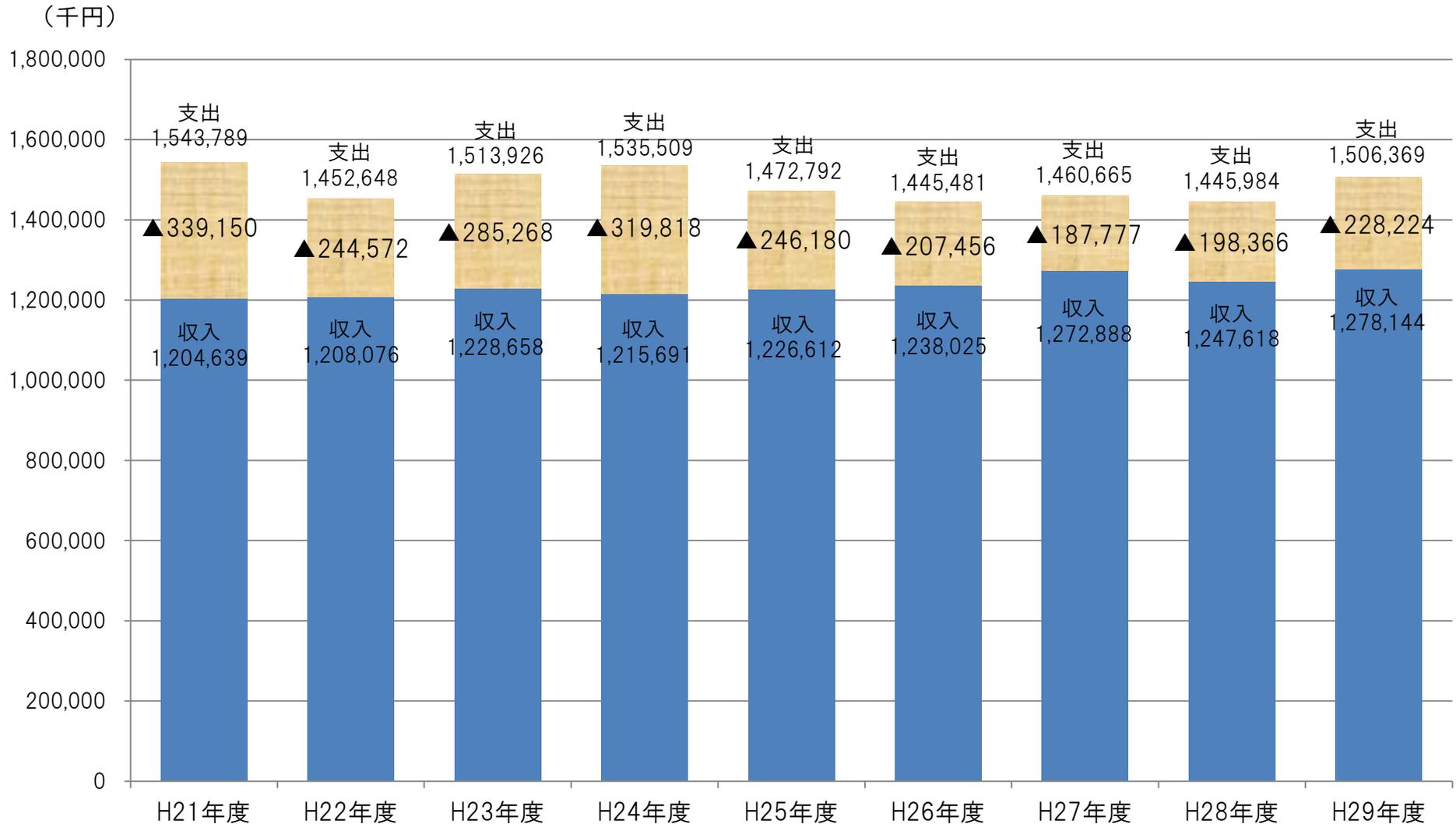
○2区間運賃収入について

【例】天王寺～大小路の場合



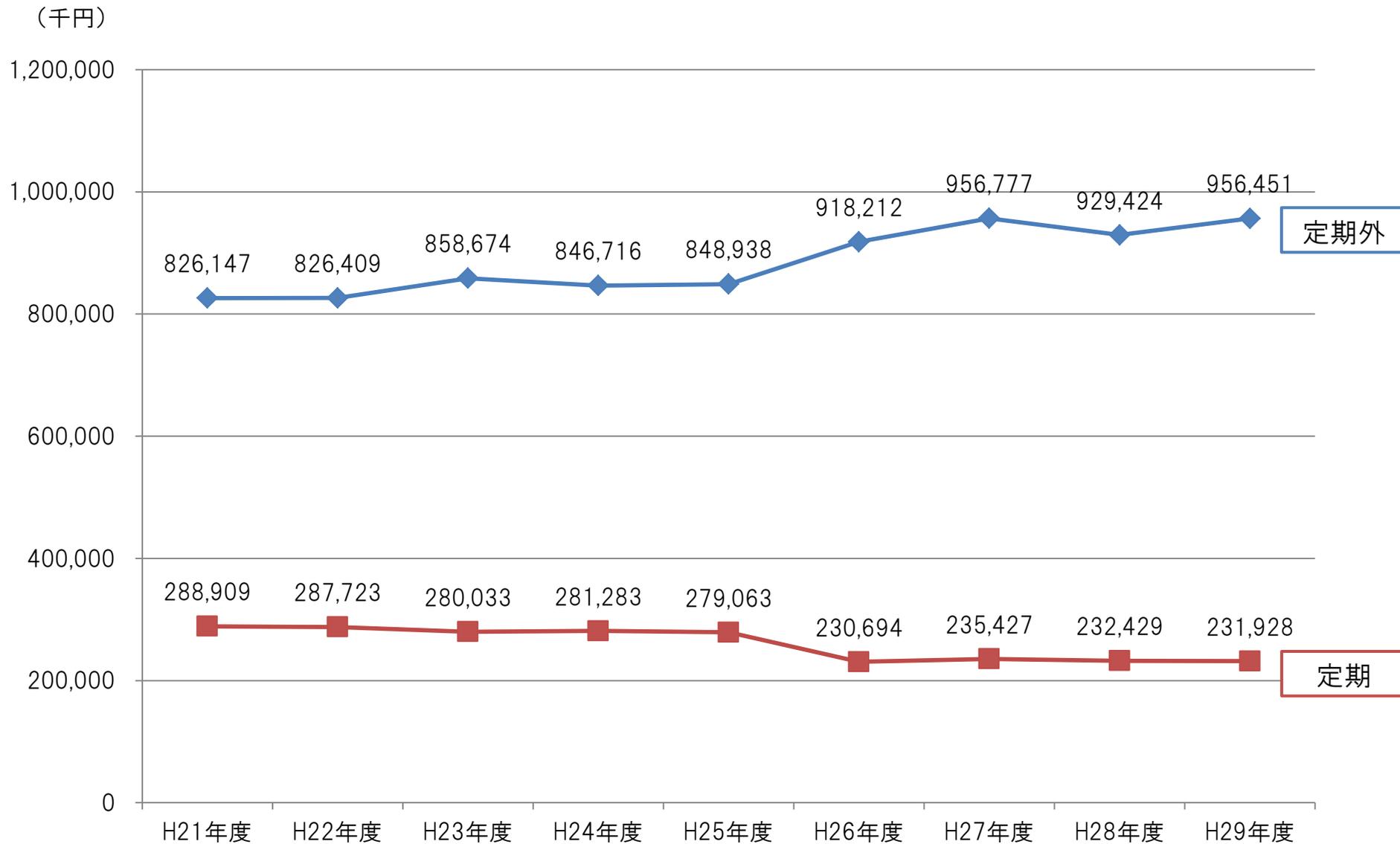
欠損額（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の欠損額は、収入が増加傾向にあり、支出は減少傾向になっているため、支援策前より大幅に改善されている。
- ・ 平成29年度は、支援開始以降最高の収入額となっている。



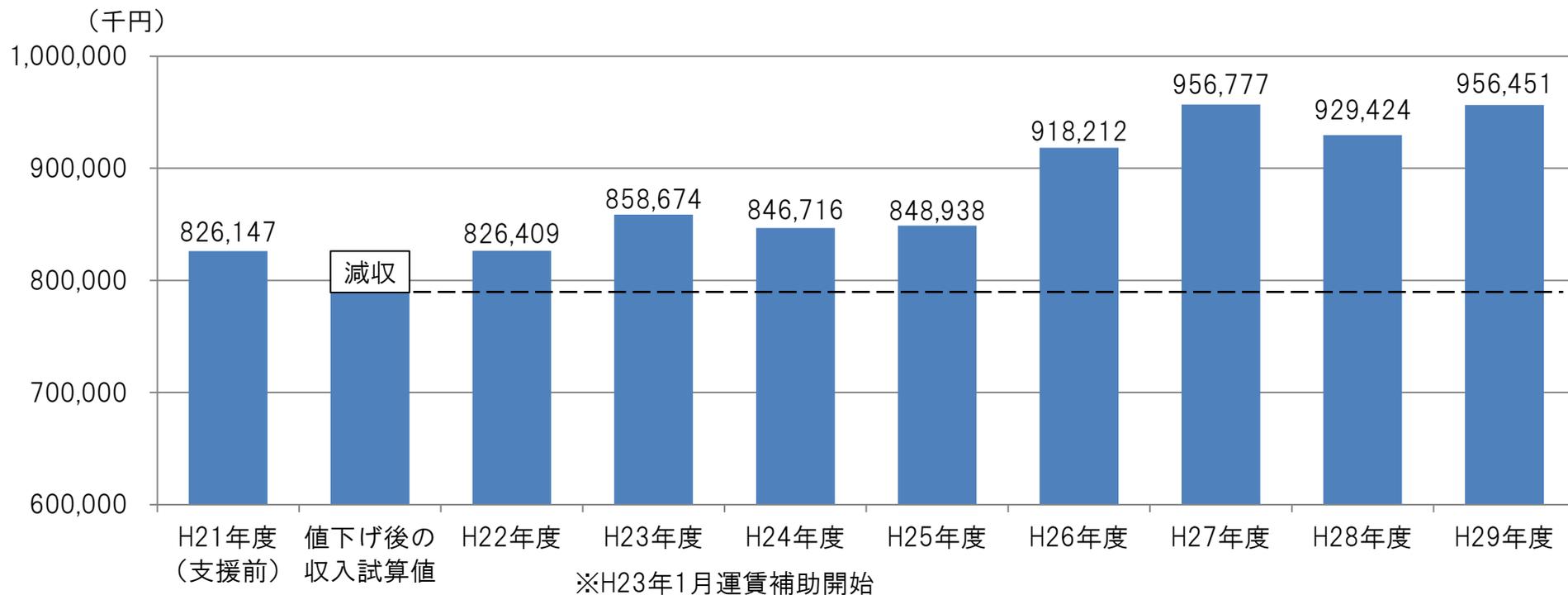
旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

・平成26年度以降交通系ICカードへの転換により、定期の収入が減少し、定期外の収入が増加傾向になっている。



定期外旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の定期外運輸収入は、支援策による運賃値下げに伴う収入減以上の収入増加となっている。
- ・ 平成26年度以降、高齢者割引拡充に伴う減収以上の利用者増加及びICカード導入により、収入が増加している。
- ・ 平成29年度は、平成28年度よりも定期外運輸収入が増加している。



※減収の内訳（推定減収額：37,000千円）

- ・ 堺市内・大阪市内区間の均一運賃化による減収

（H23年1月～H27年1月）290円→200円 90円/人の減収、（H27年2月～）290円→210円 80円/人の減収

- ・ 高齢者利用割引による減収

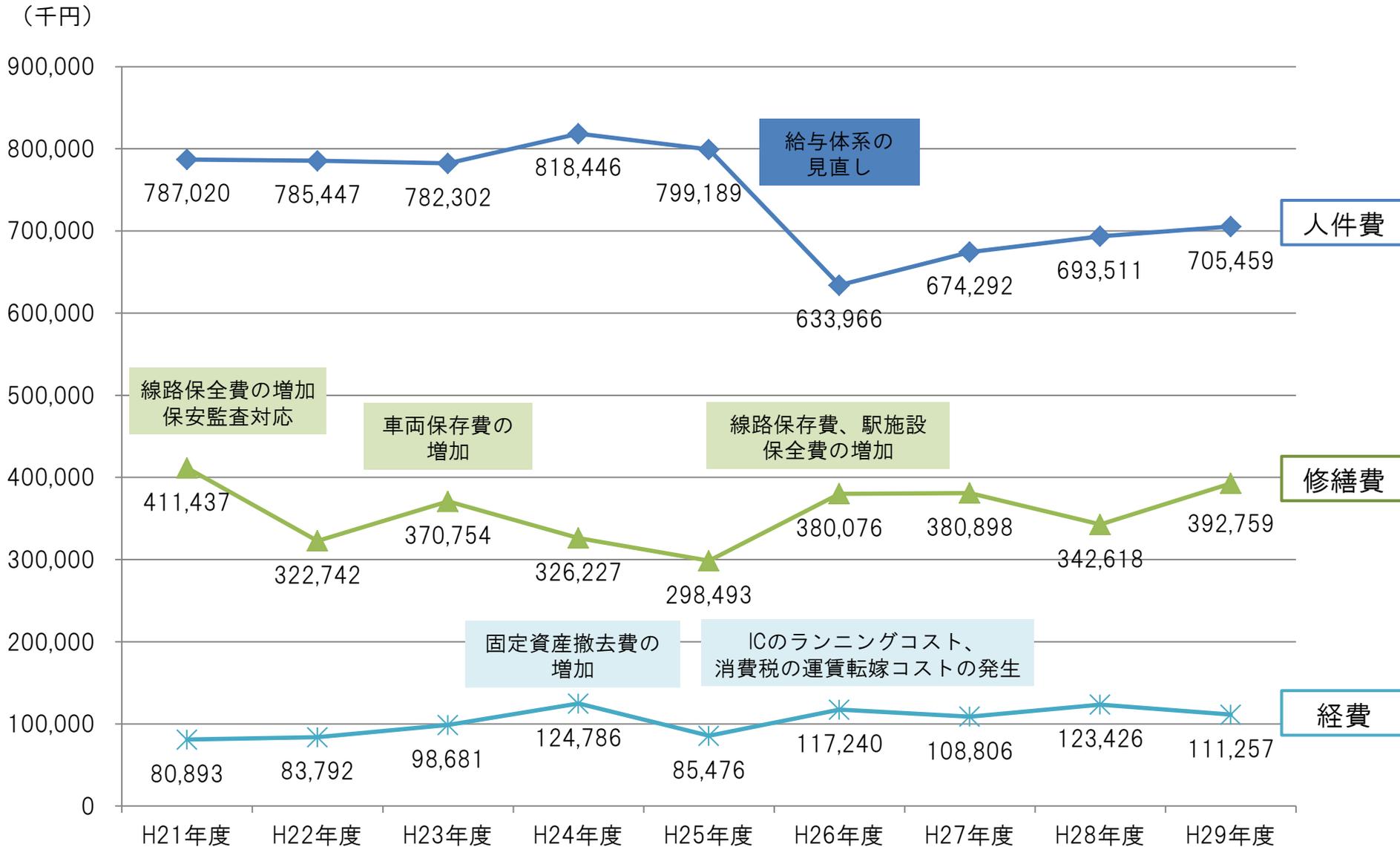
1 区間利用時：（H23年1月～H27年1月）200円→100円 100円/人の減収

（H27年2月～）210円→100円 110円/人の減収

2 区間利用時：（H23年1月～）290円→100円 190円/人の減収

人件費等の支出の推移について

- ・平成29年度は、平成28年度に比べて、人件費と修繕費が増加し、経費は減少している。
- ・平成29年度の修繕費については、平成28年度に抑制した結果、費用が膨らんでいる。



年間総車両走行キロあたりの収支について

- ・年間総車両走行キロ数が支援策前より減少傾向にある中で、年間総車両走行キロあたりの旅客運輸収入は増加傾向にある。
- ・平成29年度の年間車両走行キロあたりの費用に占める収入割合は、平成28年度とほぼ同等となっている。

車両走行キロあたりの旅客運輸収入

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
年間総車両走行キロ (千km)	1,583	1,574	1,579	1,568	1,534	1,465	1,464	1,447	1,451
旅客運輸収入(千円)	1,115,057	1,114,133	1,138,707	1,128,000	1,128,001	1,148,907	1,192,205	1,161,854	1,188,380
年間総車両走行キロ あたり運輸収入 (円/km)	704	708	721	719	735	784	814	803	819

車両走行キロあたりの営業費用

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
年間総車両走行キロ (千km)	1,583	1,574	1,579	1,568	1,534	1,465	1,464	1,447	1,451
営業費用(千円)	1,543,789	1,452,648	1,513,926	1,535,509	1,472,792	1,445,481	1,460,665	1,445,984	1,506,369
年間総車両走行キロ あたり営業費用 (円/km)	975	923	959	979	960	987	998	999	1,038

年間総車両走行キロあたりの費用に占める収入割合

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
0.72	0.77	0.75	0.73	0.77	0.79	0.82	0.80	0.79

阪堺線（堺市内区間）の利用者拡大策・運行継続に必要な経常的経費への支援について

- ・年間2億円を上限に利用者拡大策と運行継続に必要な経常的経費に支援を行っている。
- ・さらなる利用者増加の目標に向け、阪堺電軌の自助努力を促す観点から、利用者拡大に対する補助を重点配分し、目標を達成しない場合は補助の減額を条件としている。

【運行継続に必要な経費の支援】

【利用者拡大策への支援】

平成23年度	120,000千円	80,000千円
平成24年度	120,000千円	80,000千円
平成25年度	100,000千円	100,000千円
平成26年度	70,000千円	130,000千円
平成27年度	70,000千円	130,000千円
平成28年度	60,000千円	140,000千円
平成29年度	55,000千円	145,000千円

・利用者拡大策への支援について、平成29年度は、平成28年度に比べて運賃均一化への支援が大きく増加している。

1. 利用者拡大策への支援

(1) ゾーンチケットへの支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	487千円	454千円	317千円	463千円	1,246千円	941千円	1,017千円

(2) 高齢者利用割引への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	9,395千円	12,029千円	27,811千円	45,019千円	58,207千円	67,302千円	70,321千円

(3) 堺市内・大阪市内区間の運賃均一化への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	64,212千円	63,265千円	66,718千円	68,798千円	58,302千円	54,835千円	62,236千円

(4) 周知広報への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	5,874千円	731千円	5,153千円	13,720千円	12,245千円	9,992千円	11,426千円

・年間2億円が上限のため、運行の継続に必要な経費への支援は減少を続けている。

2. 運行の継続に必要な経費への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	120,000千円	120,000千円	100,000千円	72,000千円	70,000千円	60,000千円	55,000千円

● 利用者拡大策と運行の継続に必要な経費への支援（合計）

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	199,968千円	196,479千円	199,999千円	200,000千円	200,000千円	193,070千円	200,000千円

阪堺線（堺市内区間）の高度化、老朽化対策のための支援について

- ・10年間で30億円を高度化による利便性の向上と老朽化に伴う施設の改修に対する経費に支援を行っている。
- ・平成29年度は、平成28年度に比べて高度化、老朽化対策に対する経費への支援額は減少している。

1. 高度化による利便性の向上

(1) 低床式車両の導入

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
実績額	10,020千円 (設計費)	234,000千円 (車両導入費)	249,600千円 (車両導入費)	249,600千円 (車両導入費)
(国補助)	-	81,333千円	83,200千円	83,200千円
(市補助)	-	152,667千円	166,400千円	166,400千円

(2) 停留場の増設、機能改善

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	18,478千円	30,715千円	148,257千円	115,930千円	19,050千円	4,460千円
(国補助)	-	-	45,900千円	16,883千円	-	-
(市補助)	-	-	102,357千円	99,047千円	19,050千円	4,460千円

(3) ICカードの導入

※H29年度は綾ノ町上り停留場改修工事設計費

	H25年度	H26年度
実績額	161,335千円	30,000千円
(国補助)	52,900千円	-
(市補助)	108,435千円	30,000千円

※H26年度はおでかけ応援ICカードのシステム費

2. 老朽化対策

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
実績額	222,034千円	181,411千円	90,034千円	87,078千円	179,830千円	181,060千円	156,746千円
(国補助)	45,418千円	59,617千円	30,012千円	32,078千円	59,115千円	60,354千円	52,249千円
(市補助)	176,616千円	121,794千円	60,022千円	55,000千円	120,715千円	120,706千円	104,497千円